

柏門技術士会下期活動に向けて

柏門技術士会第12期も残す活動期間は半年となりました。会長として前期を振り返り、下期の活動へ向けた抱負をお伝え致します。

昨年9月に前北澤宏一学長が急逝されました。新生東京都市大へ向けた様々な事業が緒についた時期でもあり、驚きと悲しみの出来事でした。

その後、本年1月には三木千壽副学長が学長に就任され、中長期計画としての「アクションプラン2030」に基づいての改革が始まりました。2019年の創立90周年、2029年の創立100周年を目指す大学像を明確化し、教育、研究、大学運営、キャンパスなどのすべてについての改革プランが示されています。

また、6月の校友会総会で吉田勝氏が会長に就任されました。新会長のご活躍を大いに期待しています。

柏門技術士会の活動としては、学内の先生方に技術士制度ならびに技術士について、ご理解を深めて頂くために3月11日に説明会・懇親会を開催しました。副学長他10名を超える先生方のご参加を頂きました。

6月の横浜祭では、初めて横浜キャンパスで柏門技術士会のPRブースを開設しました。技術士第一次試験に関心のある学生諸君からの質問に応えることができました。合わせてこのブースがご縁で、環境学部から「技術士資格と職業」というテーマで学生向けの講演依頼を頂き準備中です。手ごたえを感じた横浜祭出展でした。

下期に向けて、母校の発展と在校生ならびに同窓の方々へ微力ながら一助となるよう本会の活動を進めてまいりたいと思っています。重点テーマを以下に掲げます。

一、在学生の技術士第一次試験受験の意義 PR

技術士第二次試験の合格者数が大学の格付け指標、卒業生の評価指標の一つになっています。柏門技術士会発足当時は全国でも上位にあった武蔵工大でしたが、近年技術士第二次試験の合格者数が他大学に比べて減少する傾向にあります。

当然のことながら技術士第一次試験合格者数の多い大学ほど技術士第二次試験の合格者数を多く出しています。

そこで、在学中から技術士制度への理解と技術士取得に向けた意識付けを目的として、昨年からは技術士第一次試験に合格した学部生に対して出願料相当の



会長 小林洋一

奨励金を支給することに致しました。本会として会計的な負担は少なくありませんが、母校の評価向上と後輩諸君のために継続してまいります。会員の皆様の一層のご支援をお願い致します。

一、学内へ技術士制度ならびに技術士の PR 継続

学内の関係者の皆様方に技術士制度の理解を深めて頂くことを目的として、世田谷キャンパスで柏門技術士会顧問の先生方へ説明会を開催しました。今後も各キャンパスならびに校友会の皆様向けの PR 活動の実施を検討してまいります。

今秋の世田谷祭（10月31日、11月2日）でも技術士制度、在学生の技術士第一次試験受験の意義、柏門技術士会活動のパネル展示を行い、在校生ならびに保護者の方々へ PR します。

これらも母校を愛するすべての皆さんと共に、より良い柏門技術士会を目指してまいります。一層のご支援・ご協力をお願い致します。 了